

令和3年度北陸新幹線建設促進同盟会総会・北陸新幹線建設促進大会、 令和3年度北陸新幹線（敦賀・大阪間）建設促進大会が開催されました

11月9日、東京都内において、北陸新幹線沿線の10都府県で構成する「北陸新幹線建設促進同盟会」の総会と大会が開催されました。

総会では、役員人事が審議され、同盟会発足時から会長を務めた富山県知事に代わり、新会長に杉本福井県知事が就任しました。

大会では、金沢・敦賀間の整備を着実に進めるとともに、フル規格による全線整備が一日も早く実現されるよう、金沢・敦賀間について令和5年度末までの開業を確実に実現すること、敦賀・大阪間についてあらゆる手段を尽くし令和12年度末頃（北海道新幹線札幌開業）までに大阪までの全線整備を図ること、幅広い観点から十分な財源を確保すること等を要望することとする決議が採択されました。



会長就任の挨拶を行う杉本知事 11/9 都内



大会の様子 11/26 都内

また、11月26日には、同じく東京都内において、関西広域連合等の関西関係団体が主催する北陸新幹線（敦賀・大阪間）建設促進大会が開催されました。

「北陸新幹線の開業効果を早期に実現するためには、1日も早い着工と新大阪駅までの全線開業が不可欠」とのことから、環境アセスメントの丁寧かつ迅速な実施や敦賀・大阪間の1日も早い着工、全線開業までの間における敦賀駅での乗換利便性の確保等を政府・与党に求める決議が採択されました。